

取手市・桂林市の概要

	取手市	桂林市
人口	106,008 人 (2024 年 1 月)	4,950,700 人 (2024 年 1 月)
面積	69.94K m ²	27.809K m ²
地形	○南部は複雑に入り込んだ谷津田と大地、北部は平坦な水田地帯 ○利根川と小貝川に囲まれている ○水と多くの緑に囲まれている	○中国南部に位置する広西チワン族自治区（省都：南寧市）は、三方を 1,000~1,500m の山々に囲まれている ○中国最大の少数民族であるチワン族をはじめ、32 の少数民族が居住している
都市の性格	○東京まで 40 km の首都圏内 ○東京への通勤者が多く、ベッドタウンとしての性格が強い	○桂林市は同自治区の経済規模で第三の都市である ○カルスト地形でタワーカルストが林立し、絵のように美しい風景に恵まれ、世界的な観光地である。特に山水画のような風景が広がる「漓江（りこう）下り」が、観光のハイライトとして広く知られている
交通	○国道 6 号・294 号線が通っている ○近隣に高速道路が通っている ○JR 常磐線、関東鉄道常総線 ○近隣に TX（つくばエクスプレス） ○茨城空港、新東京国際空港（成田）・東京国際空港（羽田）	○5 本の国道が交差している。G321 国道・G322 国道・G323 国道・G357 国道・G241 国道 ○主要駅は、湘桂線桂林駅、桂林北駅がある ○桂林バスターミナルには広州、深セン、珠海、長沙、成都、昆明をはじめとする多くの都市を結ぶ直行バスがある ○桂林両江国際空港
歴史	○旧石器時代の遺跡・遺物（中妻貝塚・向山貝塚等）が発見されている ○平将門伝説の地でもある ○戦国時代取手地域を支配していた相馬氏の高井城址がある ○水戸街道の宿場町として発展	○古来、百越（越族）の住む地であり、秦の始皇帝が征服して桂林郡を設置した ○111 年に始安県が設置され、湖南省に近いため、荊州臨稜郡に属した ○265 年始安郡始安県が置かれて初めて現在の桂林の町が形成された
産業	○主産業は商業、農業。農産物は米、野菜等	○主産業は観光
気候	○温暖（平均 14.8℃）	○夏は高温多湿、冬は温暖
教育	○公立小・中学校 21 校、私立小学校 1 校、私立中学校 2 校、高校 7 校（内私立高校 2 校）。 ○東京藝術大学 ○近隣には筑波大学、流通経済大学、つくば国際大学等、その他柏市、我孫子市、野田市などにある	○小学校 1168 校、中学校 160 校、高校 56 校 ○広西師範大学、桂林理工大学、桂林電子科技大学など 9 校



桂林市派遣事業



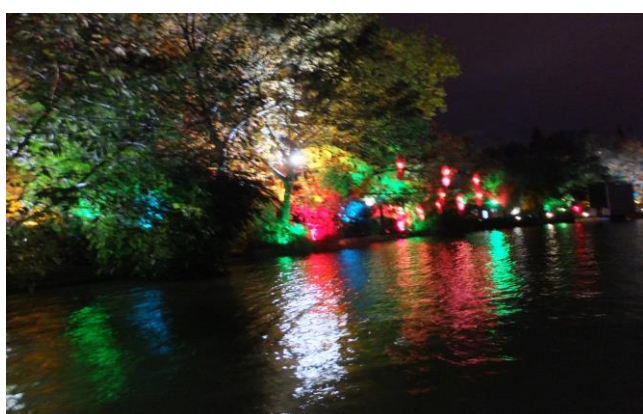
漓江の風景



漓江下り



月塔・日塔



両江四湖クルーズ



中国のパンダ



千年ガジュマル



旧桂林市の街の風景



胡蝶泉での少数民族の伝統舞踊